

36. 農業法人の経営管理に対する自己意識の特徴

福島県農業試験場経営部・平成10・11年度春夏作試験成績概要

- 1 部門名 農業経営－農業経営－農業組織 15－01－55990000
- 2 担当者 岡本和夫
- 3 要 旨

本県内の農業法人が経営管理の様々な側面に対し、どのように自己認識しているのかを165設問のアンケートにより調査し、経営管理意向を法人形態別、主要作目別等での特徴を検討した。

(1) 県内の農業法人経営者は自己の経営を3.4点(5点満点)と自己採点した。設問項目については、経営基本及び財務に関しては、回答全法人、法人形態別、主要作目別、売上高別のいずれの区分においても自己採点結果が高く、比較的優れていると自己認識していた。一方、販売に関すること、特に広告・販売促進については、いずれの区分の場合でも、他の設問項目に比べ自己採点結果が総体的に低く、努力や改善を要すると自己認識していた。

(2) 法人形態別では、株式会社の自己採点結果が高く、株式会社が総じて優れた経営管理にあると自己認識していた。

(3) 主要作目別では、苗木生産が主要作目の農業法人において自己採点結果が高い(3.8点)。次いで畜産、花き、菌茸と続いた(各3.5点)。一方、果樹が主要作目の農業法人は、果樹以外の作目が主である農業法人より自己採点結果(2.6点)が低く、すべての項目において最下位であった。果樹が主要作目の農業法人では、経営管理上、要改善点があると自己認識していることが示された。

(4) 売上高別では、売上高が多いほど自己採点結果が高かった。

(5) 法人設立からの経過年数と自己採点結果には、回答全法人、法人形態別、主要作目別、売上高別のいずれの区分においても特徴的傾向が示されなかった。

4 主な参考文献・資料

東北農業研究第52号(p.271～272)(平成11年12月)「農業法人の経営管理の実態と課題－福島県内農業法人へのアンケート調査結果から－」